

地域経済動向分析の提示について

石垣市商工会では経営発達支援事業の一環として、国が提供する地域経済分析システム「RESAS」を活用し、管内の経済動向分析を行っております。

また、RESAS以外の地域の経済動向情報（出典元など）を最終ページに掲載しておりますので、ご参考までにご案内いたします。

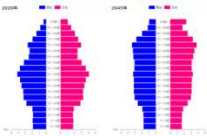

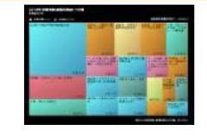




RESAS（リーサス）とは

地域経済分析システム（RESAS：リーサス）は、地方創生の様々な取り組みを情報面から支援するために、経済産業省と内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局が提供しています。

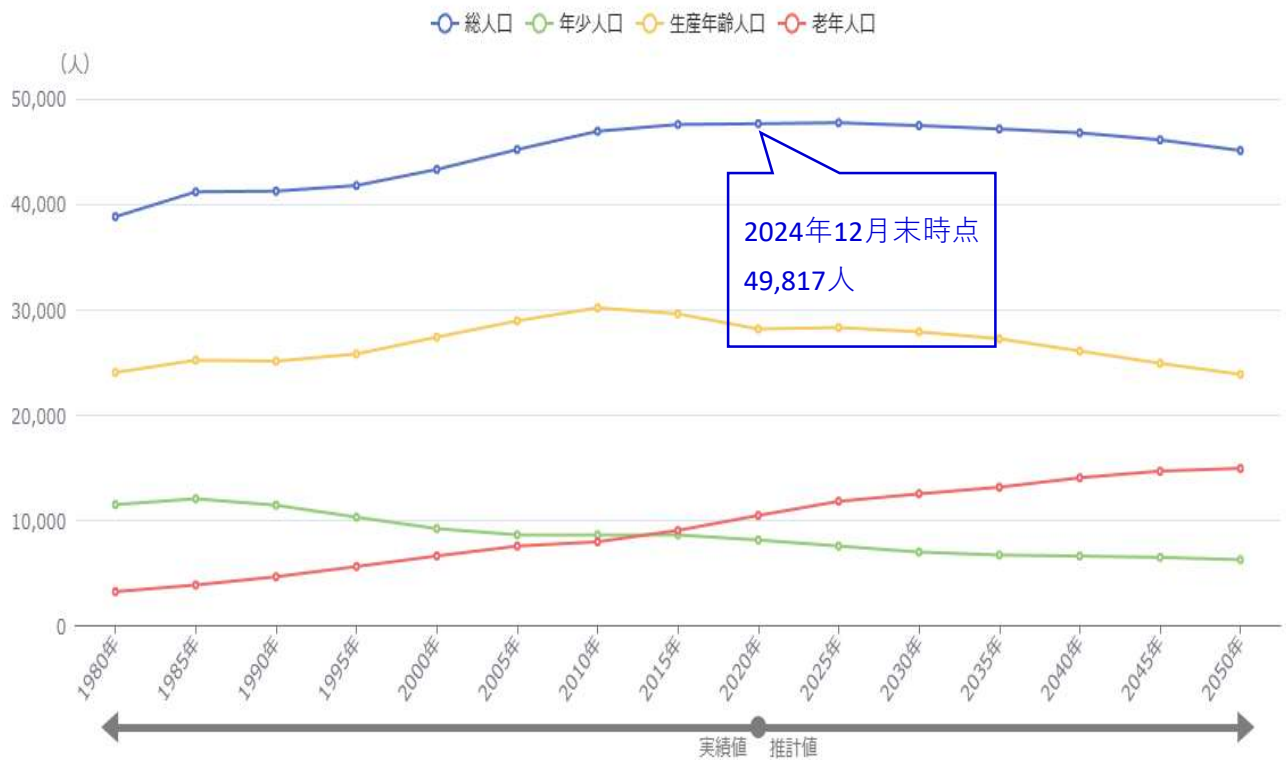
自治体職員の方や、地域の活性化に関心を持つ様々な分野の方によって、効果的な施策の立案・実行・検証のためなどに広く利用されています。

※RESAS(リーサス)は、誰でも無料でご利用できます。

地域経済分析システム（RESAS）マップ一覧 ※RESASデータ一覧は地方創生HPに公開
https://www.chisou.go.jp/sousei/resas/pdf/resas_update.pdf

<p>①人口マップ</p>  <p>人口推計・推移、人口ピラミッド、転入転出等が地域ごとに比較しながら把握可能</p>	<p>②地域経済循環マップ</p>  <p>自治体の生産・分配・支出におけるお金の流入・流出が把握可能</p>	<p>③産業構造マップ</p>  <p>地域の製造業、卸売・小売業、農林水産業の構造が把握可能</p>	<p>④企業活動マップ</p>  <p>地域の創業比率や黒字赤字企業比率、特許情報等が把握可能</p>	<p>⑤消費マップ</p>  <p>POSデータによる消費の傾向や外国人の消費構造が把握可能</p>
<p>⑥観光マップ</p>  <p>国・地域別外国人の滞在状況等のインバウンド動向や、宿泊者の動向等が把握可能</p>	<p>⑦まちづくりマップ</p>  <p>人の流動や事業所立地動向、不動産取引状況など、まちづくり関係の情報が把握可能</p>	<p>⑧医療・福祉マップ</p>  <p>地域の雇用や医療・介護について、需要面や供給面からの把握が可能</p>	<p>⑨地方財政マップ</p>  <p>各自治体の財政状況が把握可能</p>	

人口推移について

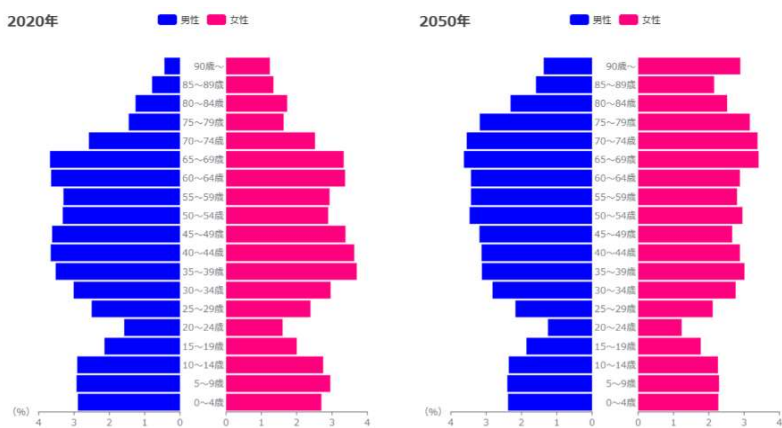


※年少人口は0歳～14歳、生産年齢人口は15歳～64歳
 老年人口は65歳以上となります。

2020年の石垣市の総人口は47,637人。10年前（2010年）の46,922人と比較して増加している。一方、今後は緩やかに横ばいからやや減少と続く見込みである。

年齢別の将来の傾向をみると年少人口、生産年齢人口は減少し、老年人口は増加する見込みである。なお、2024年12月末現在の人口は「49,812人」となっている。

人口ピラミッド



年代	総人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口
1980	38,819	11,516	24,046	3,257
1985	41,177	12,068	25,213	3,894
1990	41,245	11,457	25,118	4,670
1995	41,777	10,325	25,806	5,646
2000	43,302	9,238	27,400	6,653
2005	45,183	8,651	28,946	7,585
2010	46,922	8,637	30,180	7,989
2015	47,564	8,639	29,602	9,067
2020	47,637	8,162	28,172	10,482
2025	47,732	7,585	28,310	11,837
2030	47,460	7,016	27,899	12,545
2035	47,141	6,734	27,247	13,160
2040	46,770	6,634	26,084	14,052
2045	46,109	6,514	24,916	14,679
2050	45,098	6,289	23,867	14,942

2020年から2050年にかけて

老年人口（65歳以上）は42.5%増加、生産年齢人口（15歳～64歳）は15.2%減少、年少人口（0歳～14歳）は22.9%減少する見込みである。

転入・転出について（2022年度）

都道府県別ランキング

(人)

転入数	石垣市	沖縄県	東京都	神奈川県	大阪府	熊本県	福岡県	埼玉県	千葉県	愛知県	北海道
		1,517	297	291	276	257	242	203	165	153	143
転入数	沖縄県	東京都	神奈川県	福岡県	大阪府	愛知県	千葉県	埼玉県	北海道	兵庫県	鹿児島県
		4,786	2,629	2,345	2,212	1,867	1,718	1,465	1,002	976	802

転出数	石垣市	沖縄県	東京都	福岡県	神奈川県	大阪府	千葉県	愛知県	埼玉県	北海道	兵庫県
		1,497	271	258	239	213	124	116	115	103	96
転出数	沖縄県	東京都	福岡県	神奈川県	大阪府	千葉県	愛知県	埼玉県	鹿児島県	兵庫県	北海道
		5,568	3,027	2,608	2,013	1,788	1,523	1,508	1,011	885	851

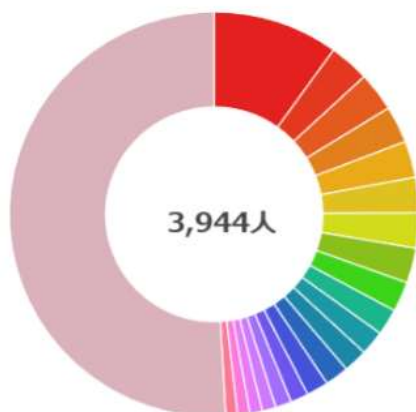
県内市町村別ランキング

(人)

転入超過	石垣市	糸満市	竹富町	豊見城市	宮古島市	うるま市	中城村	与那国町	西原町	
		39	37	31	26	15	13	8	4	
転出超過	石垣市	那覇市	沖縄市	浦添市	宜野湾市	名護市	南風原町	八重瀬町	読谷村	北谷町
		18	11	17	14	7	13	8	7	9

転入数内訳

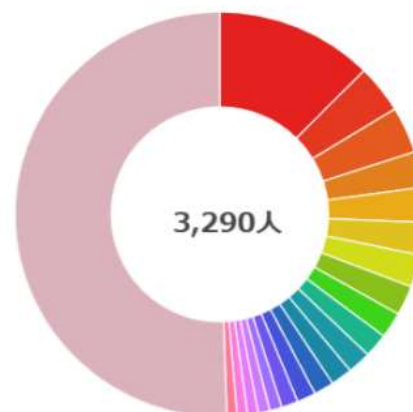
総数 総数



- 1位 沖縄県那覇市 391人 (9.91%)
- 2位 沖縄県豊見城市 125人 (3.17%)
- 3位 沖縄県竹富町 123人 (3.12%)
- 4位 熊本県熊本市 116人 (2.94%)
- 5位 長崎県大村市 115人 (2.92%)
- 6位 沖縄県宮古島市 111人 (2.81%)
- 7位 沖縄県沖縄市 111人 (2.81%)
- 8位 沖縄県浦添市 110人 (2.79%)
- 9位 沖縄県糸満市 95人 (2.41%)
- 10位 沖縄県うるま市 83人 (2.10%)

転出数内訳

総数 総数



- 1位 沖縄県那覇市 409人 (12.43%)
- 2位 沖縄県浦添市 127人 (3.86%)
- 3位 沖縄県沖縄市 122人 (3.71%)
- 4位 沖縄県豊見城市 94人 (2.86%)
- 5位 沖縄県宜野湾市 91人 (2.77%)
- 6位 沖縄県竹富町 86人 (2.61%)
- 7位 沖縄県宮古島市 85人 (2.58%)
- 8位 福岡県福岡市 78人 (2.37%)
- 9位 沖縄県うるま市 68人 (2.07%)
- 10位 沖縄県名護市 63人 (1.91%)

2022年度の石垣市における「転入・転出数」の分析結果である。

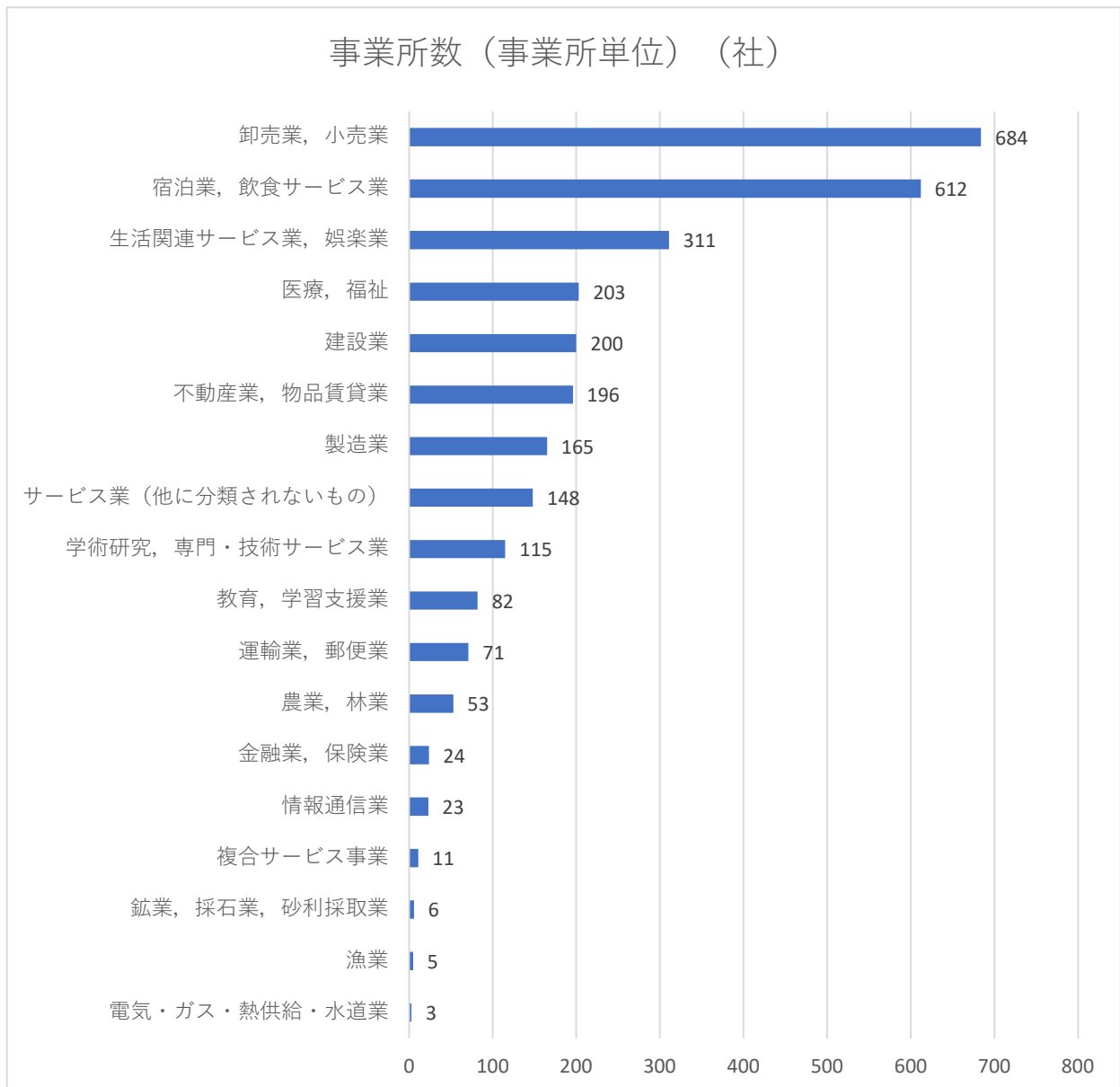
県内では糸満市からの転入超過が最も多く、那覇市への転出超過が最も多い。

県外では熊本県熊本市からの転入数が最も多く、福岡県福岡市への転出数が最も多い。

都道府県別では、転入数と転出数ともに沖縄県が最も多い。

2021年 事業者数(事業所単位)

事業者数(事業所単位)：2,912事業所

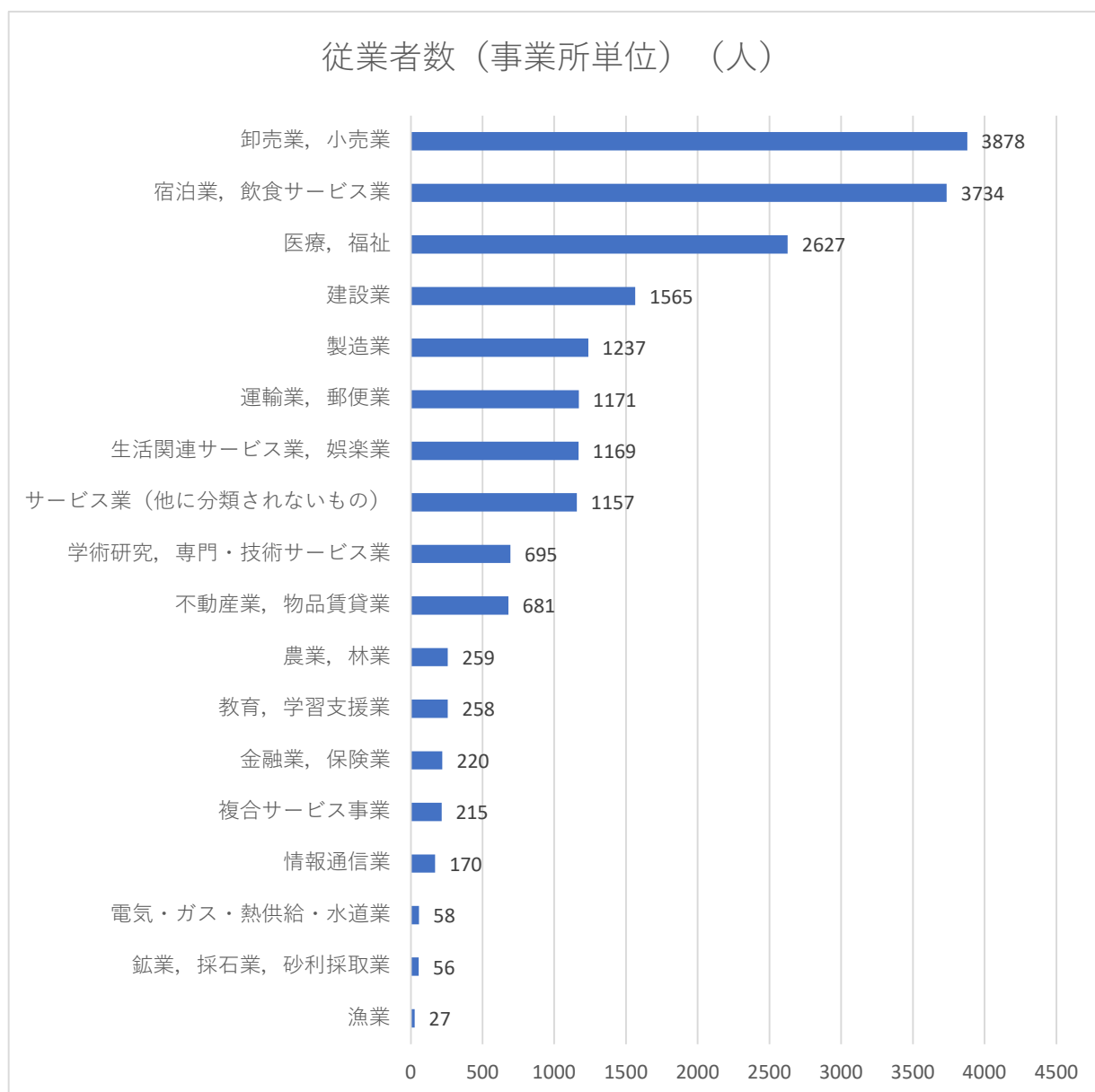


2021年度の石垣市における「業種別事業者数」の分析結果である。

石垣市では「卸売業・小売業(684者)」が最も多く「宿泊・飲食サービス業(612者)」「生活関連サービス・娯楽業(311者)」「医療・福祉(203者)」の順に多いことが分かる。

2021年 従業者数(事業所単位)

従業者数(事業所単位) : 19,177人

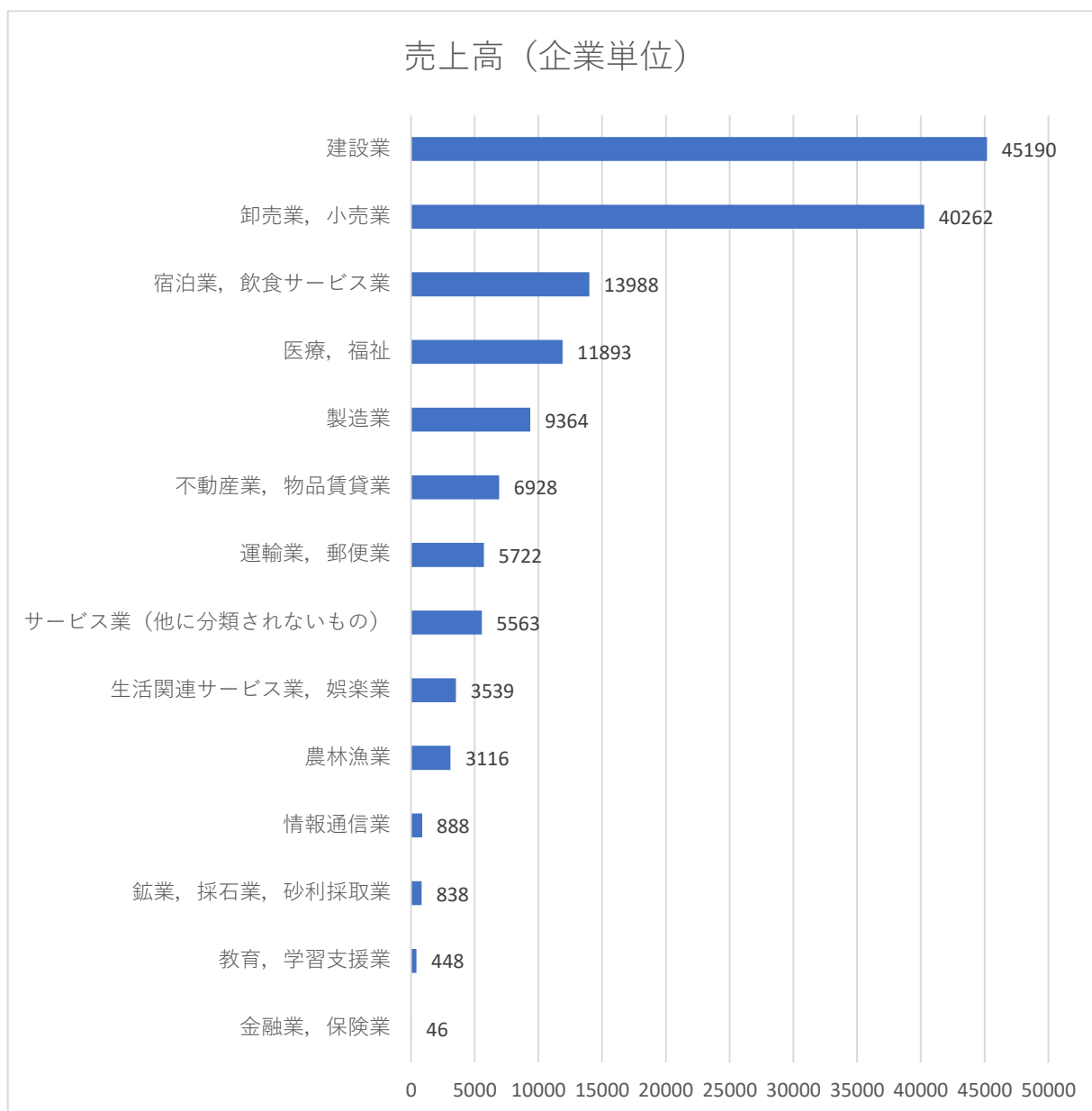


2021年度の石垣市における「業種別従業員数」の分析結果である。

市では「卸売業・小売業(3,878人)」が最も多く「宿泊業・飲食サービス(3,734人)」「医療・福祉(2,627人)」「建設業(1,565人)」の順に多いことが分かる。

2021年 売上高（企業単位）

売上高（企業単位）：151,299百万円

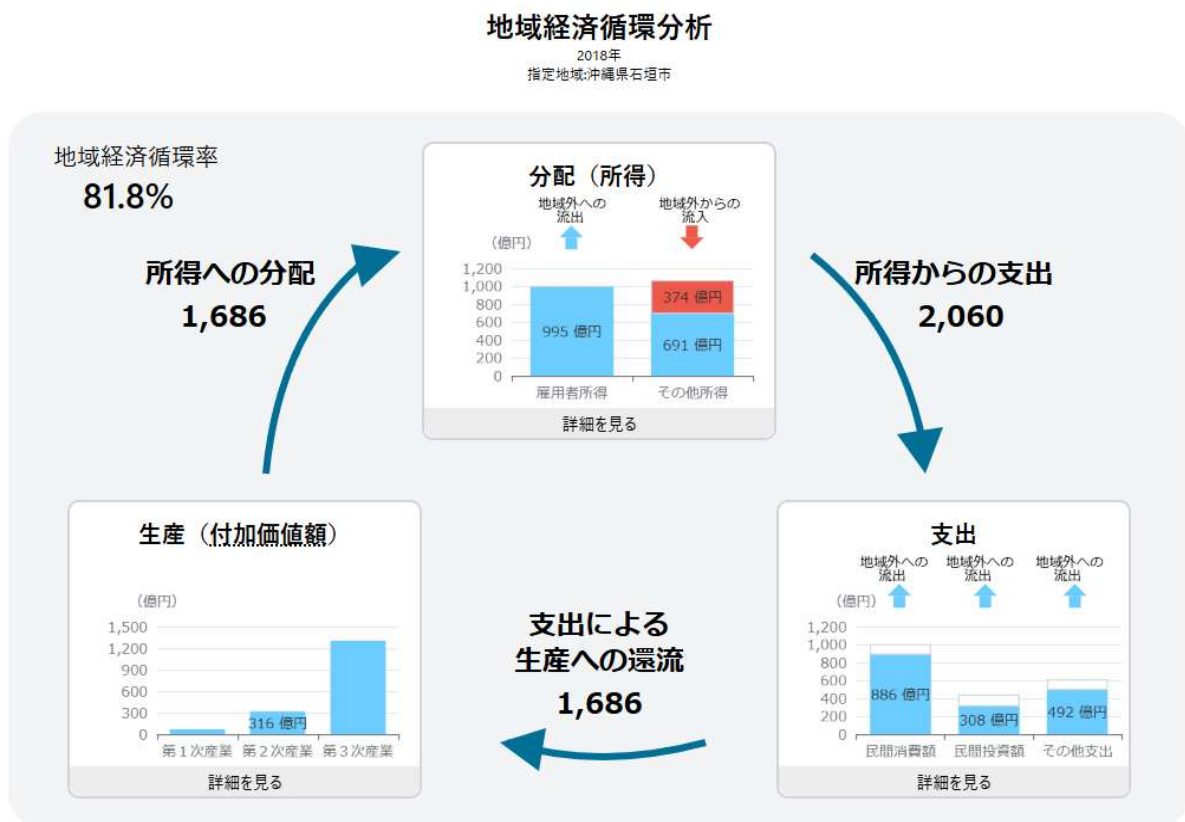


2021年度の石垣市における「業種別売上高」の分析結果である。

市では「建設業(45,190百万円)」が最も多く「卸売業，小売業(40,262百万円)」「宿泊業，飲食サービス業(13,988百万円)」「医療，福祉(11,893百万円)」の順に多いことが分かる。

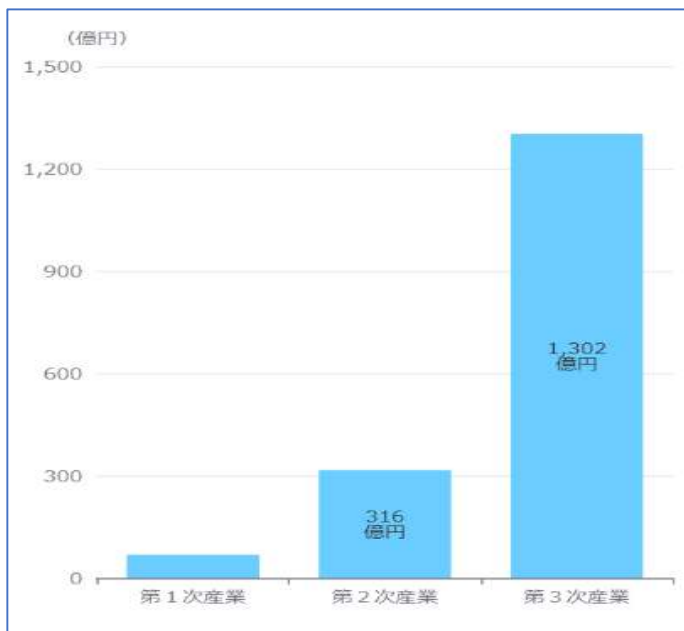
地域経済循環図（2018年・石垣市）

※ 地域経済循環率 81.8%



地域経済循環分析では、地域経済の長所と短所を分析し、地域のお金（所得）の流れを生産、分配、支出（消費、投資等）の三面から「見える化」、地域経済の全体像や、所得の流入（お金を稼ぐ力・流出額）、地域内の産業間取引（循環構造）を把握することができます。

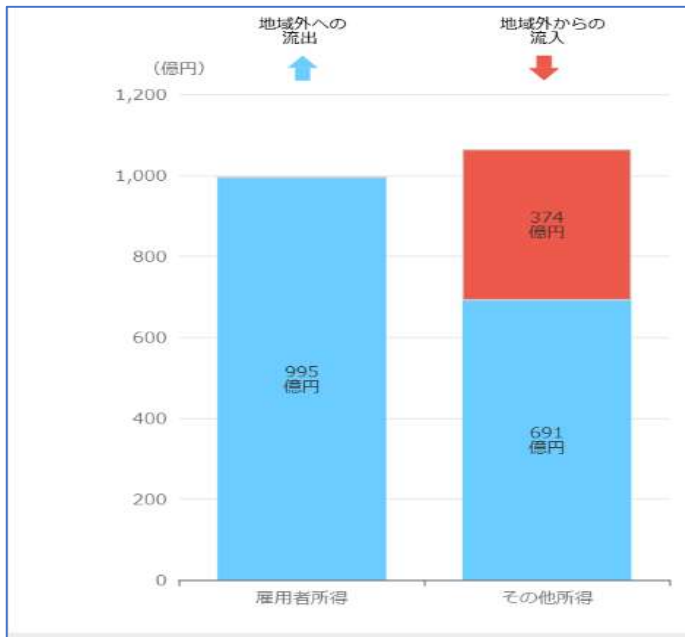
※地域経済循環率・・・生産（付加価値額）を分配（所得）で除した値であり、地域経済の自立度を示している（値が低いほど他地域から流入する所得に対する依存度が高い）



「生産（付加価値額）」では、地域が生産した商品やサービス等を販売して得た金額から、原材料費や外注費といった中間投入額を差し引いた付加価値額を把握することができます。

地域の第1次産業、第2次産業、第3次産業を付加価値額のグラフで比較することが可能です。

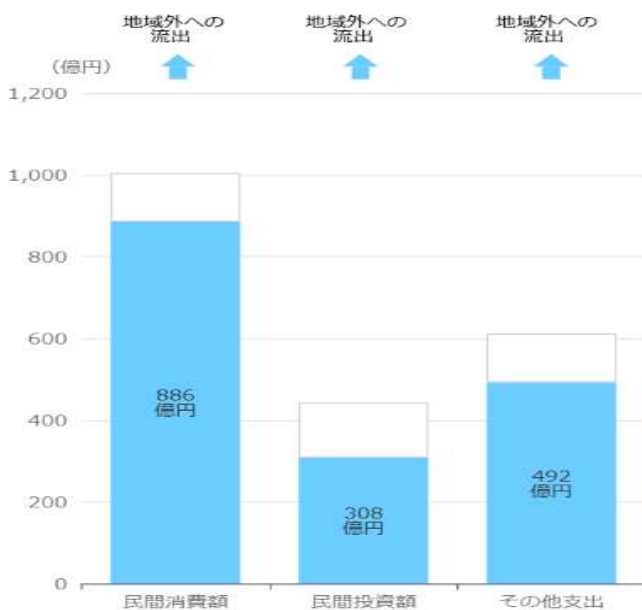
加えて、地域の当該産業の従業者一人当たりの付加価値額（労働生産性）を表で把握することができます。



「分配(所得)」では、地域産業が稼いだ付加価値額がどのように所得として分配されたかを把握することができます。

「分配(所得)」は、雇用者に支払われた「雇業者所得」と、財産所得、企業所得、交付税、社会保障給付、補助金等、雇業者所得以外の「その他所得」で構成され、各棒グラフは地域内の住民・企業等に分配された所得総額です。

地域内の住民・企業等が稼ぐ所得より、地域の産業が分配する所得が少ない場合は、その差額が赤色で表示され、地域外から所得が流入していることを意味します。



「支出」では、地域内の住民・企業等に分配された所得がどのように使われたかを把握することができます。

「支出」は、住民の消費等を示す「民間消費額」、企業の設備投資等を示す「民間投資額」、政府支出、地域内産業の移輸出入収支額等を示す「その他支出」で構成されます。

各棒グラフは、地域内で消費・投資された金額を示しています。

地域内の住民・企業等が支出した金額より、地域内に支出された金額が少ない場合は、その差額がグラフでは空白の四角で表示され、支出が地域外に流出していることを意味します。

「地域を強く」するための2つのポイント

POINT 1

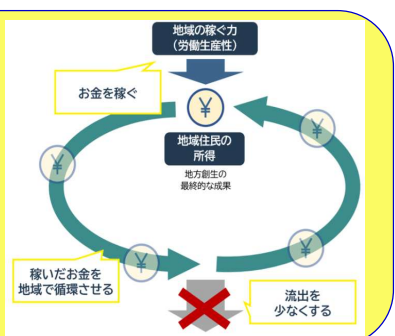
地域でお金を循環させること

お金の地域の外への流出を抑制し、地域内で循環する仕組みを作ること

POINT 2

地域でお金を稼ぐ力を強くすること

豊かな経済循環構造のために、地域内で効果的に稼ぐ産業を育てること



出典：環境省ローカルSDGs 地域循環共生圏HP

その他の地域経済動向について

●沖縄県の入域観光客概況

<https://www.pref.okinawa.jp/shigoto/kankotokusan/1011671/1011816/1003287/1026300.html>

上記URLにおいて、[沖縄県への入域観光客に関する概況](#)を毎月25日（休日等に当たる場合はその次の営業日）に公表しています。

出典：沖縄県入域観光客概況の公表（文化観光スポーツ部 観光政策課）

●観光収入・人泊数の概況

<https://www.pref.okinawa.lg.jp/shigoto/kankotokusan/1011671/1011816/1011755.html>

観光収入・人泊数の概況を四半期毎に発表しています。なお、現時点での速報となりますので、最終的な数値は変更される可能性があります。

出典：沖縄県入域観光客概況の公表（文化観光スポーツ部 観光政策課）

●沖縄県内 企業景況調査

<https://www.okinawakouko.go.jp/report/research/re004/>

県内企業の業種別の景気動向を毎年4回、約360社の企業を対象とするアンケート調査で分析し、見解景気の判断情報として提供します。

出典：沖縄振興開発金融公庫 調査研究レポート

●沖縄県内 金融経済概況

<https://www.okinawakouko.go.jp/report/research/re004/>

沖縄県内景気、個人消費、観光、公共投資、設備投資、雇用・所得情勢等について、日本銀行那覇支店による調査結果が公開されております（月に1回程度の更新）

出典：日本銀行那覇支店 県内金融経済概況

●おきなわ観光地域カルテ（速報）

<https://areakarte.ocvb.or.jp/>

人流データやイベントデータを分析し、市町村別にわかりやすく可視化した、観光地域づくりのための観光マーケティングレポートです。「来訪者数」「属性（発地・性年代）」「行動」「周遊」「イベント」の5つの切り口で地域のデータを可視化します。

出典：一般財団法人 沖縄観光コンベンションビューロー